

競技上の確認事項

大会競技委員長

1 競技規則について

2024年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

2 競技方法について

- (1) トーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
3セットマッチ（デュースあり）とする。
- (2) 準決勝終了後に1回戦敗退チームによる親善マッチを行う。
2セットマッチ（デュースあり）

3 チーム編成について

- (1) 提出されたチーム構成表（エントリー用紙）は全試合に適用し、チームスタッフ変更届は代表者会議開始までに提出すること。
- (2) 試合中、アリーナに入場できる者は、当日エントリーされた者のみとする。

4 試合球について

男子・混合：ミカサ（V400W-L） 女子：モルテン（V4M5000-L）

5 ベンチスタッフの服装について

- (1) ベンチスタッフはジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
- (2) 監督がジャケットを着用し、その他のチームスタッフが統一された服装であれば許可される。
- (3) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (4) 試合中、左胸部に監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれつけなければならない。
- (5) 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。

6 試合進行について

- (1) 試合開始時刻は、プログラムに記載してある通り第1試合のみ設定し、第2試合以降は追い込みで行う。全試合、10分間の合同練習後、プロトコールに入る。
- (2) 試合の終了したチームは、速やかにベンチを空ける。また、キャプテンは記録用紙へのサインを済ませる。次の試合のチームは、競技委員の指示が出てからベンチに入る。

7 試合中について

- (1) 監督、コーチ、マネージャーは、子どもの健全育成を目指す指導者としての自覚をもち、不適切な行為そのものはもちろん、誤解を招くような行為も厳に慎むこと。
- (2) 監督は、ボールデッド間に、立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができる。このことは、監督がみだりに立ち上がる行為を容認するものではない。また、ベンチスタッフが自然発生的に喜びの表現として偶発的に立ち上がる行為は許容範囲であるが、監督以外が、毎回のようには立ち上がったり、数歩前に出たりする行為は認められない。さらに、監督が、選手とハイタッチをしたり、飛び跳ねたりする行為及び、相手を威嚇する行為も認められない。
- (3) 床に落ちた汗は、選手のタオルで拭くため、複数の選手にタオルを携行させること。
- (4) うちわ等については、セット間及びタイムアウト中のクールダウンに使用する場合にのみベンチへの持ち込みを認める。
- (3) マスコット的な物（ぬいぐるみ、千羽鶴等）やメガホンなど音響効果のための用具の持ち込みを

禁止する。

(6) 水分を補給する場合は、水筒等を小さいかごに入れて直接床に置かないこと。

(7) 携帯電話やトランシーバー、タブレット等の電子機器の使用は禁止する。

8 応援マナーについて

(1) 応援マナーの厳守は、監督の責任において徹底させること。

相手への威嚇、審判団へのクレーム、あるいは類似した行為は慎み、積極的に感謝と称賛の意を表すように努めること。

(2) 横断幕は、試合をしているチームのみ掲示を許可し、観覧者の視界を遮ることがないように手摺りの下部に紐等を使用して固定すること。

(3) のぼりも横断幕に準じ、観覧席の最後部にマジックバンドや紐等を使用して立てること。

(4) 鳴り物（メガホン含む）の使用やうちわ等用具類を叩いての応援は禁止する。

(5) 施設及び付帯の設備等を叩きながらの応援は禁止する。

(6) カメラなどのフラッシュ撮影は禁止する。

以上